

市長の施政方針表明と質疑が行われました

4月に初当選した金子裕市長が、6月定例会において施政方針を表明しました。これに対し、金子保利議員(志翔会)、鶴見義明議員(日本共産党議員団)、木村久雄議員(公明党議員会)、小暮博志議員(政友みらい)、飯田昌弘議員(蒼生会)、春山敏明議員(新風)(以上質疑順)の6人がそれぞれの会派の代表として質疑をしました。



▲ 金子裕市長

まちづくりの 基本理念

「進化する佐野市」 「選ばれる佐野市」

【重点政策】

- ①新型コロナウイルス感染症への対策強化
- ②令和元年東日本台風による被害の復旧・復興の加速化

【政策テーマ】

- ①『未来』 「人とのつながり」で、佐野市の新しい未来をつくり出す
- ②『ひと』 「人とのつながり」で、佐野市の将来を担う輝く人をつくり出す
- ③『まち』 「人とのつながり」で、希望のまち・佐野市をつくり出す
- ④『安心』 「人とのつながり」で、佐野市に心の安心をつくり出す
- ⑤『産業』 「人とのつながり」で、佐野市に挑戦する産業をつくり出す

施政方針に対する質疑



金子 保利 議員(志翔会)
将来を見据えた佐野市の仕組みづくりの進め方、市民への反映と利便性向上について

Q 20年後、30年後を見据えた佐野市の仕組みづくりを進めるということだが、具体的な仕組みづくりはどのように進め、それが市民にどのように反映され、利便性向上につながるのか、見解を伺いたい。

A 本市が将来にわたって成長力を確保していくためには、市民の皆さんが安心して暮らせるような持続可能なまちづくりと地域活性化が重要となります。そこで、SDGsの理念に沿って各政策を進めることにより、政策全体の最適化、地域課題の解決の加速化という相乗効果が期待され、結果として持続可能な佐野市へと変革、進化し続け、そして選ばれ続けるまちとすることで、市民の皆さんが安心して生活を送ることができ、それぞれの夢をかなえることができる未来を実現するものと考えています。



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)
高校3年生までの医療費無料化の計画について

Q 市長は、「保育料や医療費など子育てに必要な経済的負担の軽減を図ることにより、こどもの街宣言にふさわしい、子育てがしやすい環境を整備してまいります」と述べており、高校3年生までの医療費無料化を具体的に挙げています。佐野市では、現在、中学3年生までとなっているが、具体的な計画を伺いたい。

A 高校3年生までの医療費無料化の計画ですが、現在、こども医療費については、中学3年生まで、県内医療機関受診分は現物支給、県外は償還払いを実施しており、これを高校3年生まで拡大します。スケジュールとしては、今年度中に関係機関との協議調整を行うとともに、条例の改正、予算措置、市民の皆さんへの周知を行い、令和4年4月から実施したいと考えています。